

項目	さいたま市	岩槻市
市制施行日	平成13年5月1日	昭和29年7月1日
面積	168.33km ²	49.16km ²
人口	1,059,766人	111,966人
世帯数	428,824世帯	41,444世帯

※H15.11.1現在 ※人口は、住民基本台帳人口+外国人登録人口

さいたま市・岩槻市の紹介

両市の基礎データ



両市の区域

さいたま市の概況

さいたま市は、県庁所在地であり、同時に行政・経済・芸術文化の中心都市でもあります。古くは中山道の宿場町として発達してきた歴史を持ち、現在は東北・上越など新幹線5路線をはじめ、JR各線や私鉄線が結節する東日本交通の要衝となっています。

また、平成13年5月1日に旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生したさいたま市は、平成15年4月1日に全国で13番目の政令指定都市へと移行し、従来の業務核都市との位置づけと相まって、関東圏域を牽引する中枢都市としてさらなる発展を目指しています。

岩槻市の概況

岩槻市は、東西に約4.9km、南北に約14.8kmの細長い形をなし、東は春日部市・越谷市、西はさいたま市、南は川口市、北は蓮田市・白岡町に接しています。土地は、岩槻、慈恩寺の二つの台地と元荒川、綾瀬川の周辺に広がる平坦地からなり、標高差が少ない比較的平坦な地形をなしています。

歴史的には、15世紀の半ば岩槻城の築城を機に街が形成され、江戸期には日光御成道の宿場町として、また元荒川、綾瀬川の舟運を支える河岸として発展し、今日の基礎が築かれました。交通は、東武野田線と国道16号が東西に横断し、国道122号と東北自動車道が南北に縦断しているなど利便性の高い地域となっています。